

ミュージカルグランドホテル

— スペシャル座談会&魅惑の人物相関図 —

GRAND HOTEL THE MUSICAL

GRAND HOTEL, THE MUSICAL
LUTHER DAVIS ROBERT WRIGHT AND GEORGE FORREST
Based on VICKI BAUM'S GRAND HOTEL
By arrangement with TURNER BROADCASTING CO.
Owner of the motion picture "GRAND HOTEL"
Additional music and lyrics by MAURY YESTON

News!!

2016年オフ ウェストエンド・シアター・アワード(The Offies)

最優秀ミュージカル作品賞:『グランドホテル』
最優秀振付賞:リー・プラウド 受賞!
今最も旬な演出家トム・サザーランドと、振付家リー・プラウドが来日して手掛ける本作に注目!



Grand Hotel
— Ian McClasham

ミュージカル『グランドホテル』と言えばこの方! 宝塚歌劇での日本初演でオットーを務めた涼風真世さんをお迎えし、今回オットー・クリンゲラインを演じる中川晃教さん、成河さん、そしてフェリックス・フォン・ガイゲルン男爵を演じる宮原浩暢[LE VELVETS]さん、伊礼彼方さんが集ってのスペシャルな座談会が実現しました。涼風さんから少しでも多くの経験談を聞き出そうとキャスト陣からは矢継ぎ早に質問が飛び交いました。



涼風真世

宝塚での日本初演当時、何をしていた?

涼風 私にとって『グランドホテル』は、とても思い出深い作品です。その頃(1993年)、皆さんは生まれていました?(笑)
一同 もちろん、生まれていますよ(笑)。
伊礼 小学生ですね。サッカーをやっていました。
成河 中学1年くらいですね。水泳をやったかな。
中川 小学生で、ピアノを弾いていましたね。
宮原 中学2年です。水泳の選手で全国大会めざして毎日泳いでいました。
一同 おお!
中川 涼風さんはその時、オットー・クリンゲラインを演じてみていかがでした?

涼風 男役だからと気負う訳でもなく、心で演じていました。死を宣告された役なので退団公演にはふさわしくなかったかもしれませんが(笑)毎日芝居をしてとても楽しかったです。

伊礼 珍しくないですか?病を患っているオットーのような役を、宝塚のトップの方が演じるのは、普通だったら男爵役をなさりそうな気がします。

涼風 綺麗な役とか二枚目のカッコいい役は、宝塚に在籍していれば経験出来ると思いますが、オットーのような人間味溢れる役をやらせてただけで、私は本当に幸せ者です。

宮原 先日、シアタークリエの公演で涼風さんは『グランドホテル』のナンバーを歌われたんですよ。その歌声を聞いてイメージが膨らみました。

オットーって、どんな人物?!

成河 僕はお芝居の中で歌わせていただいたことは何度かありますが、いわゆるグランドミュージカル出演は初めてです。映画やブロードウェイ版だと哀愁漂っている方がオットーを演じていたの、それとは全く違う感じになると思います。



中川晃教

涼風 ミュージカルということ意識しすぎて出演家の方とディスカッションして、成河ちゃんのオットーを突きつめていけば素敵なオットーになると思います。

成河 ありがとうございます。僕、涼風さんに成河ちゃんって呼ばれています(笑)。オットーはサラリーマンとして働いてきたからこそ、豪華な場所への憧れや執着があるんだろうと思うのですが、こういう役はあまり経験がないので、自分にない部分をどうやって引き出しているのかなと考えているところです。

中川 言い方が変かもしれませんが、オットーは今でも演じたいというか、自分の中に深く残っている役ですか?

涼風 オットーを演じた経験があるからこそ、今の自分が存在すると言えます。アッキーは『モーツァルト!』で共演した時、ヴォルフガングそのものだな、現代にいたらこういう人なんだろうと思わせるほどの天才肌だと思いました。きっとこの作品も、曲の中から受けるヒントがたくさんあると思います。

中川 オットーは余命残り僅かかもしれないけど“今”を生きている。だから誰よりもその瞬間に生命力をスパークさせている、すごくキラキラしているイメージがあります。キラキラも、ダイヤモンドのキラキラもあればスパンコールのキラキラもありますが、彼のキラキラ感は人生があらわれている輝きなのかなと。余命を知った上でスパークさせる、危うげなところを歌で表現出来たらいいなと思っています。



成河

台本に描かれていない部分も想像して

伊礼 そもそも男爵は、何で借金しているのでしょうか。

涼風 自分がいい暮らしをしたいからでしょうね。あとはギャンブルとか。

伊礼 男爵は自分の欲の為に借金をして、暮らしを守ろうともがいているうちに女性と出会い、愛を手に入れたけどあいつ結末が待っている、そういうことであれば納得がいくんです。これがもしも親の借金を相続して、それを返そうとしても出来なくて、お金も愛も手に入られずにあの結末を迎えるのであれば、相当な悲劇だなと。彼は心の闇を抱えているような気がするのですが、バックボーンとしては前者の方なのかなと思います。

成河 セリフにもありますよね、狂言回しの医師が「お金のない貴族ほど困ったものはいない」というような。そういう風刺的なこともあるんじゃないかな。

宮原 僕は歌手として活動していますが、芝居をすることも、ミュージカルに出演するのも初めてなのでドキドキしています。バックボーンを読み解くのは、同じ役の伊礼先輩に教えていただきたいと思いつつ…。今の段階でイメージしているのは、男爵は莫大な借金を抱えていながらも天性のギャンブル好きで、命を狙われているのにそのことさえも楽しんでいるような人物なのかなと。綺麗な女の子を見つけたらすぐに声をかけるし、ちょっと気が合う仲間が出来たらその人のことを大事にする、意外と人間的な感じなのかなと捉えています。

成河 台本に描かれていない部分も色々な捉え方が出来ますよね。

中川 今回、2つのチームで異なる演出が行なわれるのも面白いですね。(演出の)トム・サザーランドさんがそれぞれのチームに何を求めているのかを知るためにも、自分が出ていないチームの稽古も観たいですね。



スペシャル座談会が実現!

実際に舞台上で使用されたオットーの部屋の鍵! 418号室!



宮原浩暢 (LE VELVETS)

男爵とグルシンスカヤの愛の行方は? 2人は年上女性をどのように口説く?!

伊礼 僕はもともと年上の女性が好きですからね。

宮原 そうなんですか(笑)。

伊礼 年上の女性が(相手が年下というのを忘れて)一瞬見せる表情ってあるじゃないですか。あの瞬間、僕はたまに愛しいんです。「今一瞬ボーダーラインがなくなったよ!」みたいな。でもまたすぐに元の距離感になるのですが、それをなくしたいなって思って再び挑みます(笑)。

宮原 僕は駆け引きが得意じゃないので、直球で「好きです」と言うタイプです。

その気持ちを、年上の女性が受け止めて下さったらいいなと、願うばかりです(笑)。

涼風さんから皆さんにエールを

涼風 期待しています。今、日本でこの作品が上演されるということに、何からの意味があると思うんです。『グランドホテル』は人生が見え隠れする作品ですから、その中で生きて欲しいです。そして10年、20年後に、「俺は昔、この役をやったんだ。その経験があるから今の俺が居る」と思えるように演じていただけたらと思います。楽しみにしています!



伊礼彼方

文: 佳川 繪理 (株式会社EPFIZUN)

物語の見どころ

1920年代ベルリン。様々な人間のドラマが交差する豪華ホテルの一夜を描いたミュージカル「グランドホテル」。今回の座談会に登壇した中川さん、成河さんが演じるオットー・クリンゲラインは重い病を患う会計士。これまでの貯金を全て使って人生の最期の日々を豊かに過ごすべく、この豪華なホテルを訪れた。一方、宮原さん、伊礼さんが演じるフェリックス・フォン・ガイゲルン男爵は、若く美しい貴族でありながら、実は借金まみれ。ギャングによる取り立てから逃げている。かつて一世を風靡した引退間近のプリマパリーナのグルシンスカヤは座員を養う引退行のためにベルリンを訪れ、このホテルで男爵と出会う。傾きかけた織物工場の娘婿社長プライジンは会社を立て直そうと躍起になっている。ハリウッドでスターになることを夢見ているタイピストのプレムシェンは、プライジンスカヤ社長の私設秘書に誘われる。偶然にもグランドホテルで出会い、それぞれの人生が変わるような一夜を過ごす。想いが交錯する様子を見事に表現した楽曲に乗せて、物語は次々と展開してゆく。グランドホテルの一日、それは人生の中ではほんの一瞬の出来事かもしれない。しかしその一瞬に、運命を変えるような何かがある。



日本版初演 オットー役・涼風真世さん

1981年宝塚歌劇団入団、1990年月組トップスターに就任、1993年トニー・チェーンらが演出した『グランドホテル』[BROADWAY BOYS]で宝塚を退団。その後は舞台、テレビドラマ、声優など幅広く活躍。今後の出演予定は4月23日「涼風真世&京フィル ドリームコンサートin春秋座」(京都芸術劇場 春秋座)、ミュージカル『エリザベト』(ジフィー役)、ミュージカル『貴婦人の訪問』(クレア役)出演予定。

TOKYO	4/9 土 → 4/24 日	赤坂ACTシアター	料金 (全席指定・税込) S席 12,000円 A席 9,000円	問 梅田芸術劇場 0570-077-039
NAGOYA	4/27 木 → 4/28 金	愛知県芸術劇場大ホール	料金 (全席指定・税込) S席 12,000円 A席 9,000円	問 中京テレビ事業 052-957-3333
OSAKA	5/5 木祝 → 5/8 日	梅田芸術劇場メインホール	料金 (全席指定・税込) S席 12,000円 A席 9,000円 B席 5,000円	問 梅田芸術劇場 06-6377-3800

TOKYO	4/9 土	4/10 日	4/11 月	4/12 火	4/13 水	4/14 木	4/15 金	4/16 土	4/17 日	4/18 月	4/19 火	4/20 水	4/21 木	4/22 金	4/23 土	4/24 日	NAGOYA	4/27 木	4/28 金	OSAKA	5/5 木祝	5/6 金	5/7 土	5/8 日	
12:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14:00	●	●	12:00	●	●	●	●
14:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	13:30	●	●	13:30	●	●	●	●
17:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	17:00	●	●	17:00	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	19:00	●	●	18:30	●	●	●	●

● GREEN ● RED

スペシャルイベント多数あり! 詳細は本チラシ、または公式ホームページをご覧ください!!

official site <http://musical-grandhotel.com>



グランドホテルで渦巻く、 さまざまな人間模様...

GreenとRed 二つの結末。

GRAND HOTEL



ラファエラ
樹里咲穂 土居裕子
マダム役に立ちたい、その一心で。

グリンシスカヤの親友であり、秘書であり、時にはドレシーとして、彼女を崇拜し献身的に仕えている。ことあるごとに、グリンシスカヤに向かって、「マダムは素晴らしい芸術家」と、懸命に励ます。ラファエラの中では、ある光景を思い描いている。将来美しい別荘でグリンシスカヤと一緒に静かに暮らすこと。「マダムには私が必要ですわ」、この言葉に込められた想いは?!



サンドー
金 すんら
グリンシスカヤの引退興行を主催する劇場プロデューサー。内心では利益にならないレエに見切をつけているが、契約した興行をなんとか成立させようと、グリンシスカヤのご機嫌を取っている。

Check!

エンディング以外にも沢山!
GREEN teamとRED teamで全く違う演出や振付が登場!
随所で2バージョンである醍醐味をお見せしたい!
と、演出家トム・サザーランドも意気込んでいます!



エリザヴェータ・グリンシスカヤ
安寿ミラ 草刈民代

失意の彼女に、一夜の出会いで愛の炎が燃え上がるかつて一世を風靡したロシア人の伝説的プリマバレリーナ。引退ツアー公演の真ん中。とは言っても、どうやらこれで8度目の引退興行らしい。過去の栄光にすがりたい気持ちを持っているが、バレリーナとしての肉体的な年齢は既に限界を超え、将来の不安に押しつぶされそうになっている。そんな時に会ったガイゲルン男爵。彼は言葉巧みに、グリンシスカヤの素晴らしい才能をたたえ、溢れ出る愛の言葉で口説く。そのナンバーが「Love Can't Happen」。一瞬で燃え上がる炎には、誰も近付くそうにない。それを静かにじっと見つめているのは、彼女の付人、ラファエラである。

信頼

崇拜

利益目的

愛



オッテンシュラッグ医師
光枝明彦 佐山陽規

皮肉な目でグランドホテルに行き交う人々を客観視
第一次大戦のガス攻撃によって身体にも心にも傷を負い、モルヒネを手放せない悲壮感漂う老人医師。グランドホテルで巻き起こる様々な出来事を「動」とするならば、ただ静かに客観視している「静」のポジションで、このミュージカルのストーリーテラーのような役目を果たしている。オッテンシュラッグ医師が登場人物たちを紹介するナンバー「The Grand Parade」からこのミュージカルは始まり、観客を物語へと誘ってゆく。



マネージャー

ウィット
杉尾 真
グリンシスカヤのマネージャー。早くこれまでの貴方を取り戻したいと願っているが、かつての自信を取り戻せない彼女にいつも振り回され、苛立ちを隠しきれない。

Check!

スペシャルダンサーの振付も
GREENとREDで大きく違ってくる予定です!
2016年、本作でオフウェストエンド・シアター・アワード最優秀振付賞を受賞したリー・ブラウドの振付にも注目!



スペシャルダンサー
湖月わたる

余の灯火が消えようとする。その瞬間に現れる愛と死の化身。言葉は発さず、ダンスのみで、時に激しく、時に静かにGREENとREDそれぞれ違う振付で表現する。



フェリックス・フォン・ガイゲルン男爵
宮原浩暢 (LE VELVETS) 伊礼彼方

彼が盗みに入った部屋から手に入れたのは真実の愛?!
若く、容姿端麗でスマートな身のこなしの男性。彼の正式な名前は、フェリックス・アマデウス・ベンヴェヌート・フォン・ガイゲルン男爵。貴族としてこの名前を受け継いだ、スリルを求めてキャンブルで散財、常に危険と隣り合わせの生活をしている。男爵の借金は一体どれくらいあるのだろうか。このホテルに出入りしている運転手からも、金の工面を迫られている様子。ある時、男爵は宝石を盗もうとバレリーナのグリンシスカヤの部屋に忍び込んだところを見付かってしまう。窮地に立たされた彼は飾り立てた言葉を並べた末に、なんと年上女性のグリンシスカヤとFall in love! 果たしてこの愛の行方はいかに?!

友情

Check!

数々のミュージカルで主演を務めた彼のクリスマス性、天性の歌声はウエストエンド級!
byトム



オットー・クリンゲライン
中川晃教 成河

人生最期に訪れた、人生最高の幸運期!
余命いくばくもないことを悟っている。重い病を患う元会計士。全財産を抱えて憧れの「グランドホテル」にやってきた。しかしホテルの人たちは、「泊まる部屋はない」と追い返そうとする。田舎から出てきた彼の身なりのせいなのか、ユダヤ人だからなのか...。その時、ガイゲルン男爵が機転を利かせて宿泊出来ることになる。運に見放されたかと思った男に、一気に運が回って来たに絶頂感を歌うのが【At the Grand Hotel】。オットーは自分でアクションを起こしてこの場所を訪れ、更には男爵の手助けでチャンスを引き寄せた。こうして「人生探し」の夢を懸けたグランドホテルでの生活が始まる。若いフレムシェンとの出会いもまた、彼の運命を変えてゆく。

Check!

初のグランドミュージカルとは思えない
抜群の歌唱力!芝居の感性の鋭さ。
3拍子揃った俳優!
byトム



トルード
吉田玲菜
フレムシェンの友人。お金が貯まったからグラフ・セッパリン号でアメリカに渡るとフレムシェンに告げにくる。



フレムシェン
昆 夏美 真野恵里菜

短い時間の中で成長し、大人になっていく。
若くて可愛いタイプ。本名は、フリーダ・フレム。いつかハリウッドに行き、映画スターになって夢のような生活をするのよ。歌うナンバーが「Girl in the Mirror」。若さゆえの、自信と野心に溢れている。そんなフレムシェンもまた、グランドホテルで出会う様々な人によって、影響を受け、成長していく。夢の為なら手段を選ばない小悪魔な一面も、ボールのようにポンポンと跳びはねるような瞬発力が必要とされるこの役どころを、二人がどのように演じるかも見どころのひとつ!

友情? それとも恋?!

かつての上司

覚えていない存在

友人

下心

雇い主

頼りにしている



ヘルマン・プライジング
戸井勝海 吉原光夫

守りたいのは会社?地位や名声?それより...欲?
傾きかけた繊維工場、サクソニア・ミルズ社の娘婿社長。会社を立て直す会社があるため、グランドホテルを訪れた。しかし企業との合併が成功しないと会社は倒産。何としてもこの窮地を抜け出さなくてはと、必死に情報収集をしている。家族の為に、なんとかしなければと。全てを手に入れようとする傲慢さの陰には、常に弱さや脆さが見え隠れしている。そんな彼を表すようなナンバーが「The Crooked Path」。プライジングはフレムシェンにも、ある「取引」を提案する。



ズィノウィッツ
大山真志
ビジネス至上主義の教養弁護士。「奇跡を起こせなかった株主たちはあなたを社長の座から引きずり降ろしますよ」とプライジングに忠告するも、意に沿わぬ様子を見て、彼をあっさり見放してしましたたかな人物。



運転手
青山航士
実は男爵の借金を取立てるギャングの一味。そのタイムリミットが一刻と近づいていると、男爵に忠告する。

出産中の妻が心配で
たまらない!
しかし仕事が...

知性溢れる若きアシスタント・コンシェルジュ。仕事の合間に何度も病院の看護婦と電話で話している。妻は出産間近、その時を今かと待っている。しかし、この場を離れることが出来ないもどかしさ。グランドホテルの宿泊客とは対照的で、実に庶民的な人物のひとり。言動からは誠実な人柄が滲み出ている。



エリック
藤岡 正明

グランドホテルで働く人々



部下

上司

ローナ
友石 竜也
職務に忠実なグランドホテルの支配人、エリックの上司。若い頃はホテルで日銭を稼ぐことは自分を貶めることなどではないかと感じていたが、今はこの仕事に誇りを持っている。



ジミー
味方良介 木内 健人

歌とダンスによるパフォーマンスを披露してお客様を楽しませている、二人組のアメリカエンターテイナー。開店準備をしながら、途中でフレムシェンも加わって歌い踊る軽快なナンバー「Maybe My Baby (Loves Me)」は最高の見せ場!チャールストンも楽しみに。



ベルボーイ
新井 俊一
グランドホテルの男性従業員。荷物を運んだり、電報を届けたりしている。



ホテルスタッフ
岡本 華奈
グランドホテルの女性従業員。労働者階級の従業員たちはいつも働きながら愚痴をこぼしている。ここで苦しいのは自分たちだけ。早くこの状況から抜け出したいと。



マダムビービー
真瀬 はるか
グランドホテルの女性従業員。結婚の後片付けをするのはもううんざり。私もロイヤルスイートに泊まりたいと、仕事の愚痴をこぼしている。



トゥッツィ
天野 朋子
グランドホテルに出入りする娼婦。トイレの鏡に向かって化粧しながら話している会話によると、どうやら今夜は儲けたらしい。